

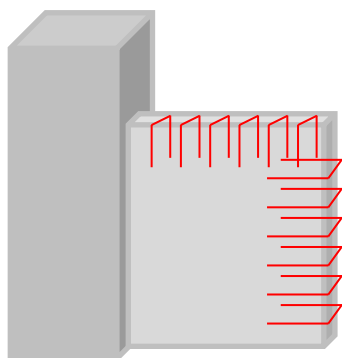
壁のキャップ筋とは

壁リストにある「キャップ筋」が算出される条件について説明します。

筋情報				
キャップ筋				
	径1	径2	@	定着
垂直部	10		200	
水平部	10		200	

キャップ筋は、「壁厚 + 定着長さ × 2」で算出されるコの字型の鉄筋となります。

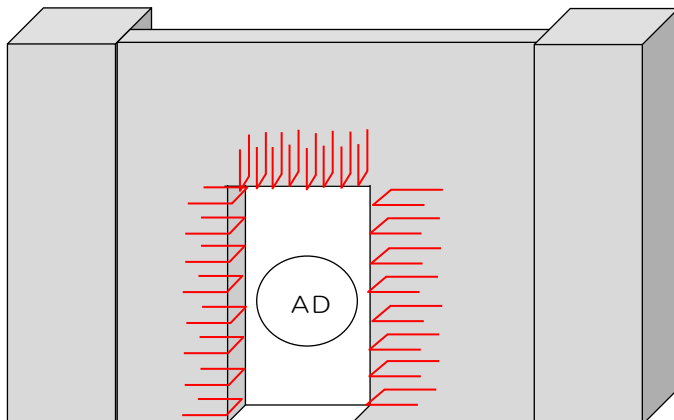
1. 腰壁、下がり壁、袖壁など、伏図の配置上で柱や梁などに接続がないと判断された場合に算出されます。



2. 伏図上で、柱や梁に接続する配置になっていても、壁のプロパティの「接続部位」の欄で「接続無し」の設定を行った時も算出されます。

接続部位	
上	自動
下	自動
左	接続なし
右	自動

3. 開口部のキャップ筋を算出する方法



開口部の小口部分にキャップ筋を算出するには、計算条件設定の画面で設定します。

計算条件設定

共通 部位別1 部位別2 その他

壁

- 左右下の接続なし側に止め型枠を算出する
- 開口部の横主筋減にて継手分は加算しない
- スリット計算で開口接続がなしでも減する

・縦筋指示入力時の"縦補強筋計算"

- 縦主筋と同じ(ただし指示=2は4、指示=3は6と同計算)
- 縦主筋と同じ
- 壁高+上下定着+下継手

- スリット長さに入力がある時、補強筋を自動計算する
- スリット補強筋計算時、主筋定着をマイナスする

・スリット厚の自動計算

- 30 mm
- 階高/100 5mm単位切り上げ

- スリットつなぎ鉄筋長さは * 2 + スリット厚
- 開口部のスリット補強筋を計算する
- 開口部のキャップ筋を計算する

「開口部のキャップ筋を計算する」にチェックを付けると算出されます。